



4.質の高い教育をみんなに  
17.パートナーシップで目標を達成しよう



スミ・マズィタテグルさん

ニュンガニュンガに遊ぶグレンビュー1高校の生徒たち。

## 伝える音色、つながる音色

アフリカのジンバブエ共和国は、国の政策として、学校でムビラを教えることを推奨している。ムビラはジンバブエに住むシヨナ民族の伝統楽器で、彼らが先祖に祈るときに、その音色が大切な役割を果たす。またジンバブエの独立の際には、人々の気持ちを束ねるのに大きく寄与した。

現在ジンバブエでは、お金がなくてムビラを買えず、子どもたちにムビラを教えることができない学校が大半だ。私が今、ムビラ奏者として活動しているのも、この国に豊かな伝統があったから。少しでも伝統の継承に貢献できるようにと、日本で募金を呼びかけ、ムビラの一つであるニュンガニュンガを学校に寄付する活動をしている。2020年の2月、ジンバブエの学校を訪れて寄付をしてきた。生徒たちに「ぜひ、これを機にムビラに触れてください。日本や欧米でツアーをしているジンバブエのムビラ奏者たちがいますが、練習し続ければ、あなたがそうなる可能性も出てくるのですから」と話すと、生徒たちの間から「オオー」と歓声が上がった。先生たちは、「私たちは自国の文化・伝統・信仰を忘れつつある。いい機会をありがとう。ニュンガニュンガの演奏やダンスを練習し、来年あなたがやってくるときには、ジンバブエ文化デーを開催したい。ぜひ、他の日本人も連れてきてほしい」と言ってくれた。

伝統教育や文化の交流を通じ、アフリカと日本、世界がつながる助けになればと願っています。

今月の投稿(文と写真)スミ・マズィタテグルさん  
愛媛県出身ムビラ奏者。10代後半からバツバツバツとして旅を始め、ジンバブエでムビラと出会ったことをきっかけに演奏家の道へ。日本と海外でのライブ活動や、演奏法の指導を行っている。ホームページは「ムビラ弾こうよー」で検索。

### あなたの投稿をお待ちしています!

「わたしが見つけたSDGs」に写真と文章をお寄せください。貧困や気候変動、格差ほか、いま世界が直面している課題やその解決に向けた取り組みのエピソードなど、SDGsの17の目標を身近に感じられる作品をお寄せください。

応募要項:写真1点(ご自身が撮影されたもの)、文字原稿400字以内。

\*写真内の被写体に関する肖像権およびその他の権利は、投稿者の責任において被写体や権利保持者の承諾を得るなど必要な措置をとったうえでご応募ください。

ご応募・お問い合わせ先▶ML\_JICAPR@jica.go.jp(「mundi」編集部宛て)



### SDGsとは

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)は「誰一人取り残さない」をスローガンに、格差や貧困、環境破壊など世界が直面している問題の根本的な解決を目指す17分野の国際目標。

持続可能な開発目標(SDGs)と  
JICAの取り組み

